



# 南小だより

狭山市立南小学校

〒350-1317

狭山市水野 815 番地-1

Tel 04-2957-9102

Fax 04-2957-9103

児童一人一人を伸ばす学校「ルール チームワーク ベスト」

## 1年で1番日が長い時を元気に!!



▽タイトルに「元気」という言葉を使いました。あいさつが大きな声であったり、行動が活発であったりするのが「元気」のイメージかもしれませんが。でも聞こえる声であいさつしてくれれば十分元気です。特別に行動が速くなくても落ち着いて仕事や役割を果たしてくれればこれも十分元気です。自分ができること、できそうなことにきちんと向き合い続けていこうとする姿勢があれば、それを「元気」ととらえます。児童も表現の仕方や行動の特徴は人それぞれです。「元気」な児童の基本は、他の人と比べるより自分と向き合うことができ、心の中身が前向きであること。そこからさらに自分のよさを発揮して、「元気」をパワーアップしてくれることを期待します。

▽今月は学習と学校教育目標の関連を話題にします。「児童がたくましく未来を切り拓いていくために」ということをテーマに、私は学習を6つの力に定義しています。AIの進化が生活を大きく変えていくことが予想される現代。検索すれば大量の情報を手にすることができます。一方でその情報の真偽については注意も必要となります。情報の使い手である私たちは、流されずに「**自分の考えをもつ力**」と「**自分の考えを表現する力**」が必要となります。質問の質によってAIの答えも違うそうですが、もちろん人との対話でもまずは自分の考えを持ち、それを表現するところから交流が始まります。これが「**考える子**」の育成との関連です。

▽今、学習は対話による深まりを目指しています。自分の考えを他の人と交流し、それを受け入れ、自分の考えを再構築していく。例えば、コロナウイルス感染症対応はなかなか答えの見つからない課題でした。様々な意見を交流し、その時のベストと思われる対応を選択し、試行錯誤の中で危機を乗り越えてきました。立場によって異なる意見を受け入れ、よく考え、新たな対応策を実行するには「**相手の話を聴く力**」と「**人を大切にできる力**」が必要でした。自分を大切にするとともに、同様に相手の立場も尊重し大切にできる。多様な視点を活かしたチームワークによって、答えを見つけにくい課題の解決に取り組んでいく。この姿が「**仲よくする子**」の育成との関連です。

▽今後は「人生100年」の時代。児童たちの将来にとって義務教育の9年間など学びの入り口にしか過ぎません。仕事をとおして、社会生活をとおしてずっと長い期間、学びは続いていくはず。そうすると「**チャレンジする力**」は学生や若い頃だけのものではなくなります。同時に長い生涯で「**続ける力**」も重要となります。働く(自分ができることを続ける)ことが心身の健康につながる可以说是のかもしれませんが。「**働く子**」の育成は生涯にわたって健康に働く大人への基礎と考えると、大切な目標と言えます。

▽5月、6月は交通事故が多い時期です。新年度の生活に慣れて油断が生まれることも心配です。これから梅雨時になると、歩行者も車も視界が狭くなりがちです。「もしかして とまる みる まつ たしかめる」の基本をくり返し指導していきます。先日の朝会では、交通安全、熱中症予防、廊下を走らないという3つの安全についてお話をしました。

＜狭山市立南小学校長 山本 昭＞

